

# 令和六年度 定時総会

令和六年六月七日(金)、定時総会が開催され、議案事項は全て承認されました。

## 令和六年度定時総会挨拶



理事長  
竹野 成記

竹野理事長は、総会の開会にあたり、会員並びにご来賓に総会への出席と平素のご支援に謝意を表し、次のように挨拶をしました。

### 〈令和5年度状況〉

会員数につきましては、目標値1,400人に対して1,318人に留まりました。しかしながら、プラス6人ではあります。5年ぶりに前年度末から増加となりました。今後も引き続き会員拡大に努めて行きたいと思っております。

契約金額につきましては、目標値8億5千600万円に対して8億6千300万円と前年度より約4%増加の過去最高値をあげることができました。会員の皆様に深く感謝する次第でございます。

就業率につきましては目標値の90%を超え過去最高値の91%となりました。

りました。

こうした状況は、会員の皆様・役員・そして事務局職員が一体となつて、シルバー事業運営を進めてきた努力の賜物ではないかと感じる次第であります。

就業中における事故の発生は、飛び石事故、重篤事故の撲滅を掲げ、安全委員会の皆様を中心に安全適正就業の推進に一所懸命、精力的に取り組んでいただきました。

重篤事故については0件、飛び石事故についても前年を下回ることでございましたが、傷害事故は昨年から倍増してしまいました。軽微な事故・ちよつとした油断で起きた事故が大半でございますが、その結果、事故件数は、前年度を大きく上回ってしまいました。安全は何事にも優先される事柄です。また、事故は、相手方の損害だけでなく、自らの大きな心の痛手になつてしまいます。

未然に事故や傷害を防ぐため、就業前の点検の実施、安全対策に特段のご配慮をお願いします。

〈シルバー人材センターを取り巻く環境の変化への対応〉

センター内におきましては、過

去最高の契約額を上げることができたのは皆様の多大なる頑張りであるといえますが、一方でオーパーワークとなり、健康を損ねてしまうことが懸念されます。会員の高齢化が進み、75歳以上の方が52%、平均年齢が75・1歳を超えました。健康で元気であるからこそ就業が可能であり、規則的な就業が、健康を保つ要因のひとつとなつていると思われま

す。昨年度は、かつてない猛暑が続くなど、世界中で異常気象がみられました。今後は、暑さ対策を含めた、健康面に留意した就業環境づくりに取り組んでいかなければなりません。

社会情勢につきましては、国内外で猛威を振るっていたコロナ禍



も、昨年5月に漸く5類に緩和され、徐々に社会経済活動が回復し、シルバー事業も活発になってきました。地域活動を通じての社会参加や仲間づくりにも今後も地区長さん・班長さんを中心に一層ご尽力賜るようお願いいたします。

昨年10月から始まった消費税インボイス制度や長期化している物価高は、経営基盤に大きな影響を与え、事務費率の見直しを真剣に検討しなければならぬほどになつております。さらに、本年11月からのフリーランス新法施行による契約見直しのうねりや、デジタル化推進による事務効率の改善等、膨大な社会変化に対応した的確な取り組みが求められています。

四日市市シルバーは、いまこそ「自主自立・共働共助」の基本理念を踏まえ、会員の皆様や役員職員が一丸となつて事業を展開し、楽しく、心豊かで活力に満ちたセンターを目指して頑張つてまいりますので皆様の絶大なご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 〈結び〉

最後になりますが、本日定時総会に、お越しいただきました皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念申し上げて、私の開会にあつた挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。